



●「子育て県かがわ」の実現を目指して結婚から妊娠・出産を経て子育てまで。

次代を担う子どもたちのための子育て支援

問・子どもの数や出生数の減少で少子化の進行は非常に深刻化している。しかしその中で共働き世帯の増加で待機児童が発生し、さらに県児童相談所の児童虐待対応件数も年々増加している。「子育て県

かがわ」実現のため県としてはどう取り組んでいくのか。

答・（知事）かがわ縁結びセンターにおいては、会員の一層の増加を図りより多くの独身者を成婚へとつなげ、待機児童解消へは、保育士の育成・確保のために、「保育士

人材バンク」「保育体験ツアー」「かがわ保育士就職フェア」などを活用し就職支援を実施して行きたい。また、働きやすい職場環境整備補助事業を実施します。

児童虐待への対応は、市町と相互に連携し未然防止から早期発見、早期対応や再発防止に努めます。

結婚から出産・子育てまで総合的支援に取組んでまいりたいと考えています。



●地域の連携を通じ交流人口を拡大させる点で、県道整備が課題となっている。

空港連絡道路の整備の方針は

問・空港連絡道路、県道円座香南線の香南工区の整備に向けてどのように取り組み、また今後県道整備にどのような観点で取り組むのか。

答・（知事）空港連絡道路の香南工区は、アクセス向上、交通の円滑化、災害時

ネットワークの代替性・多重性の確保などの観点から必要な事業と考えています。県道の整備についても、交通事故対策、自転車歩行者道の整備、交差点改良など活力ある県土づくりに向け、積極的に推進して行きます。

NEWS

県産ヒノキ新築に補助

県は、県産ヒノキを使った新築住宅に対する補助事業を5月から始めた。

上限は1軒につき**50万円**。

対象

県内に木造住宅を建築する施主

●「県産認証ヒノキ材」を3立方メートル以上使用すること。



1立方メートルあたり1万円を千円単位で補助

※使用量が15立方メートル以上になると、県産ヒノキのPRへの協力などを条件に特別加算として補助を1立方メートルあたり4万円上乗せする



申請受付

前期 8月20日まで
後記 来年 2月13日